

2023年度（2022年夏実施）教員採用試験採用予定者数一覧 ※2022年度との増減比較つき

Table with columns for year (年度), category (小, 中, 高, 特, 養, 栄, 幼, その他), and total (計). Rows list various prefectures and cities like 北海道, 札幌市, 青森県, etc.

Table with columns for year (年度), category (小, 中, 高, 特, 養, 栄, 幼, その他), and total (計). Rows list various prefectures and cities like 滋賀県, 京都府, 京都市, etc.

【備考】1) 北海道=高校については札幌市教育委員会との共同登録 2) 札幌市=中のうち、高校については札幌市教育委員会との共同登録となった者から必要となる教科について若干名を採用 3) 宮城県: 中高=中学校・中高共通・高校の合算 4) 仙台市: 中高=中学校・中高共通・高校の合算 5) 秋田県: その他=社会人等特別 6) 山形県: その他=スポーツ特別選考 7) さいたま市: 中高=中学校・高校・中等教育学校の合算 8) 千葉県・千葉市: 中=中学技術と中高共通の合算 養=一般選考と特別選考の合算 採用予定数の総数は県の発表数値 9) 神奈川県: 校種別の採用予定数には障がいのある人を対象とした特別選考での採用予定数を含む 10) 横浜市: 中=中高共通 高=高校商業 11) 川崎市: 中=中高共通 高=高校工業。2023年度の総計については市教委の発表数値による 12) 相模原市: 採用予定数には障害者選考での採用者2名を含む 13) 新潟県: 中=中高共通と中学技術の合算 14) 福井県: 中=中高一括と中学技術の合算、2022年度の特には理療での採用予定者を含む 15) 長野県: その他=身体に障がいのある人を対象とした選考 16) 岐阜県: その他=社会人特別選考と地域限定特別選考の合算 17) 静岡県: その他=障害者特別選考 18) 京都府: その他=メッシュ選考と障害者特別選考の合算 19) 京都市: その他=国際貢献特別選考、フロンティア特別選考、障害者特別選考(=2022年度のみ) 20) 堺市: 幼=幼小幼共通。その他=小中一貫教育推進(英語)。なお、2023年度の小には小学校外国語推進での採用予定者3名を含む 21) 兵庫県: 小、中の募集人員には、それぞれ特との併願(小20、中20)を含む 22) 神戸市: 小=小学校と小学校英語コースの合算 23) 奈良県: その他=実習助手・寄宿舎指導員(=2022年度のみ) 24) 島根県: その他=障がいのある人を対象とした選考 25) 広島県・広島市: 広島県と広島市それぞれの採用予定者数の合算 26) 山口県: その他=障害者対象とした選考。2023年度の高には看護科教諭特別選考の採用予定者1名を含む 27) 徳島県: その他=身体に障がいのある者を対象とした選考 28) 愛媛県: その他=障害者特別選考。2023年度の採用予定数は前期試験のみ人数で、2023年度から実施する後期試験(現職教員特別選考)分は含まれない 29) 高知県: 採用予定数には障害者特別選考を含む 小、中、特には大学等推薦特別選考を含む 30) 福岡県: 小=一般と英語有資格者の合算 31) 福岡市: 中=2023年度は中高校での採用予定者7名を含む 32) 北九州市: 小=採用予定者数には幼を含む。また、2023年度の小には小中一貫枠での採用予定者5名を含む 33) 長崎県: その他=障害者特別選考 34) 熊本県: その他=障がいのある者を対象とした選考 35) 熊本市: 中高=2023年度は中高校での採用予定者80名と高校単独での採用予定者3名の合算(2022年度は高校単独での募集なし) 36) 鹿児島県: その他=実習助手、寄宿舎指導員、図書館担当職員、船舶職員(=2022年度のみ)の合算 高=採用予定者数のほかに教科によって若干名を採用する。2023年度の小=小学校(併願)として中から上限10名程度 特(小学部)から上限5名程度を小の採用者として選考。採用予定者数は小学校併願枠を含んだ発表数値 37) 東京都: その他=特別選考 38) 大分県: その他=特別選考 ※数値は基本として一般選考による採用予定者数。一部の自治体で現職教員や教員経験者等を対象として別途日程を定めて実施される特別試験での採用予定者数は含まれない。